



①心地いい締め付けを可能にした2本のマジックバンド



②ベルマーク運動参加商品のカラー2号



③通気性にすぐれたラポーター「さらっと」



④男性用、女性用がある牛本革を使ったコンフォートシューズ



⑤2005年に販売を開始した防災ずきん



ラポーターの特長を語る
代表取締役の有吉英二さん

「ラッキーベル株式会社」

長田納税協会評議員

創業 1961年(昭和36年)

本社 神戸市長田区神楽町4-3-1

URL <http://www.luckybell.co.jp/>

小学生の頃、日本中の多くの子どもたちが履いていた上履きシューズは、ゴムがついて履きやすく、学年ごとに色も区別されていました。青少年を健全に育成することを願うスクールシューズの専門メーカーとして45年。まさに、人々の健康を足元から支えてきたラッキーベル株式会社代表取締役の有吉英二さんに、現在の取組みをお伺いしました。

スクールシューズから、高齢者シューズへ 老若男女の健康を足元から守るパイオニア

スクールシューズは成長期の子どものために一日に長時間も履きますから、正常な足の形成を妨げないようにしなければなりません。足の成長は、歩き方や姿勢に大きく影響を与え、生育異常が生じれば健康障害を引き起こす原因となりますので、子どもたちに適したシューズを独自のアイデアを駆使して開発してきました。甲斐あって「前三角ゴムシューズ」はスクールシューズの代名詞として認知され、他に例のないロング商品となっています。

販売方法にも工夫をこらし、一般市場には卸さず代理店制度を導入したのも、ロングヒットにつながったと思いますが、これも高い完成度が認められ信用されたからに他なりません。

そして2003年には、長年の販売実績と開発ノウハウを集積して、中高齢者向けのシューズを開

発。「ラポーター」の名称で女性用・男性用のフォーマル、カジュアル、インナーの商品群を販売しました。足元の健康を担う企業として次世代のマーケットにいち早く着目し、試行錯誤の末、2本のマジックベルトを採用し履き心地と歩きやすさを追求したことは、大きな進歩と考えています。

開発スタッフに30歳代、40歳代を起用したことも、大きな転機となりました。ロングセラー商品を扱う会社のスタッフの新しい試みが社会に認められ、大きな自信につながりました。そして、阪神大震災の教訓と関東の学校でよく見かけた防災ずきんがオーバードラップし製品化に挑んだのが、毒性のない素材を使い、防災性能試験にも合格した小学生向けの防災ずきんです。子どもたちをはじめ、人々の安全を支える企業として、これからも日々努力していきます。